

第3回 幼稚園再編に係る地域協議会(俵口幼稚園)

日 時： 令和3年5月11日(火)

午後3時から

場 所： 俵口幼稚園リズム室

次 第

1 こども園について

2 「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案(以下「原案」という。)に対する追加意見の共有について

3 原案に対する意見を踏まえた課題と考えられる対応について

配布資料

【資料1】 こども園について

【資料2】 「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案に対して
提出された追加意見

【資料3】 「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案に対する
意見を踏まえた課題と考えられる対応



こども園の1日

資料1



【3歳未満児クラス】 (3号認定児)

【3歳以上児クラス】

時間	月～金曜日	時間	土曜日
7:00	随時登園		随時登園
		7:30	
8:30	年齢別保育	8:30	3歳未満児クラス 合同保育
9:30	おやつ 遊び	9:30	おやつ 遊び
11:30	食事 昼寝	11:30	食事 昼寝
15:00	おやつ 随時降園	15:00	おやつ 随時降園
		18:00	保育終了
19:30	保育終了		

時間	1号認定児		2号認定児	
	月～金曜日	月～金曜日	月～金曜日	土曜日
7:00	随時登園 合同保育		随時登園	
7:30		預かり保育		
8:45	登園	学年別保育	3歳以上児クラス 合同保育	
9:00			遊び	
12:00	食事		食事	
13:00	遊び		昼寝	昼寝
14:00	降園	預かり保育		
14:30		(昼寝)	おやつ	おやつ
15:00		おやつ		
17:00		遊び 随時降園	遊び 随時降園	遊び 随時降園
18:00		保育終了	保育終了	
18:30		保育終了		
19:30			保育終了	

1号認定児は、水曜日は半日保育(11:30まで)になります。
11:30以降、預かり保育が実施されます。

※1号認定児…満3歳以上の未就学児(2号認定除く)

※2号認定児…満3歳以上で保護者が保育を必要とする事由に該当し、保育を必要とする子ども

※3号認定児…満3歳未満で保護者が保育を必要とする事由に該当し、保育を必要とする子ども



「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案に対して提出された追加意見

①園児の通園の負担及び通園時の安全に関すること

・通園バスについて

バス通園になると先生と話す機会が無くなる。

バス通園児の小学校通学は近年不審者が多く不安。

バス料金は半額または無償を希望する。他1

バス停の場所や数、広さについて。他3

バスの運行コースについて。他1

バスの運行が必要。他10

バスに遅れたらどうするのか？送迎が出来ない親は？

自宅からはむしろ近くなるのでバス不要。

バスの乗降時やルート of 安全確保を。他1

バス利用に変更なければ負担も変わらない。

俵口園区は狭く曲がった道が多い。小型バスは検討しているか。

・立地について(徒歩圏内及び隣に小学校があるということについて)

自分で足で幼稚園へ通園することは、小学校に通う際の自信になる。

歩いての通園は交通ルールを学ぶ良い機会。他1

未就園児をつれて俵口園区から生駒台幼稚園へ登園する保護者の苦勞が想像できているのか。

手伝いや行事で登園するときに負担である。

健康面で考えると、俵口から生駒台への距離的な負担は感じない。

歩いて通える生活圏の中に公立幼稚園があることが重要。公立小に隣接していることもこの考えに基づいている。バス通園の時間は負担でしかない。俵口幼稚園は必要である。

・統合先の園関係の事情について

生駒台幼稚園近くに送迎用の土地を確保できるのか。他4

送迎の駐車場が混雑しないか。

・その他意見

幼稚園が徒歩圏内なので引っ越してきた。幼稚園がなければ引っ越ししていない。

遠い。距離的負担が大きい。他2

マイカー送迎が増えるので安全面や地域住民からのクレームが心配。他1

両地区の幼稚園児、保育園児が集うと周囲の交通量がかなり増加する。

交通安全が第一。パトロールの増加を。

時間的な計画や生活リズムが変わり、親の負担も大きい。

比較的近いので問題なし。

通園の負担軽減が必要。

年齢と共に幼→小→中までの距離がだんだん遠くなるべきなのに幼稚園が遠くなりすぎる。

子どもが少なくなってるのでは仕方がない。その分バスの工夫をいろいろして頂いて子どもが喜んで通園できるようにしていただきたい。

保育園のように駐車スペースや、送迎が可能であれば大丈夫かと。

距離的な負担は慣れるまでは大変だと思うが、子どもにとって一番いい方法での通園を望む。

役員をすることになる親の通園についてはどう考えているか。シーズンによっては何度も園に通わなくてはいけなくなる。こども園をすすめるのであれば、共働きの親のためにもPTAのあり方を考え直したほうが良いと思う。

市教育委員会で検討中の具体案を提示して欲しい。

通園は近い場所がいに決まっているが、限られた財源で統合の必要があるならば進めるべき。

徒歩で行く俵口幼稚園の坂道こそ負担。

142号線の交通量増加による通園ルートของ安全性について実地調査を。

阪奈道路生駒IC付近の横断ルートの情報と安全性インフラの確保を。

障害のある保護者、自動車の運転ができない保護者の負担について。

余計な費用バス、駐車スペース、用地代金等、園児等に負担だけではな市財政の逼迫になる様な政策はありえない。行政は口だけあまいことを言ってやらない常套手段。

・その他提案

先生のマイカー通勤を禁止してはどうか。

ガードレールの設置等により歩道と車道を分離し、園児の安全対策を。

徒歩通園が難しい場合に、車送迎許可なら嬉しい。

②再編の環境変化に伴う園児及び保護者への対応に関すること

・家庭環境について

小学校と行事が重なれば専業主婦でも時間のやりくりが大変。

きょうだいで幼稚園がわかる家庭は負担が大きいと思う。他7

親の負担は確実に増える。他2

隣接されていれば参観時に親は安心。双方の行事に重なりがないかもチェックしやすい。

2箇所に送迎している家庭は大変だと思うが、保育園が2箇所でも仕事と両立している人はたくさんいる。

行事の日程調整は必要。他4

俵口幼稚園、俵口小学校に通わせている保護者中心に考えるとその意見は出るが、俵口小と他の保育園に通わせている保護者はたくさんいるので、できないことは無いだろう。

きょうだいで幼稚園がわかれないう配慮を。

きょうだいで園がわかる家庭には送迎等で配慮すべき。PTA活動もややこしくなりそうなので簡素化して負担軽減を。

居住地から遠くなる園生活の違いからくる環境影響とメンタルサポート。

役員などになった場合、生活時間の調整が心配。

・在園・卒園について

在籍する園で卒業できるような形とは具体的にどういうことか。意味がわからない。

俵口で卒業させてほしい。

子どもは柔軟性があるので卒業まで待つ必要はない。多くの子が集うほうがいいと思う。

選択制にしてはどうか。

・小学校との関係・連携について

俵口幼稚園から俵口小学校というメリットや安心感がなくなるのではないか。

保護者の小学校との交流や連携が希薄化する。

俵口小学校に通わず人が少なくなる。他1

俵口園区の子どもが生駒台に通うようになって、俵口小学校の行事等の連絡連携がスムーズにできるように願う。

俵口小学校との連携を。

・その他意見

心理的支援が出来れば良い。

心理的支援は必要かもしれないが、それで実際の負担は減らない。

幼稚園がなくなると地域のにぎやかな声が聞こえなくなり、今後この地域に住もうと思う人が減るのではないかと心配。

幼稚園に親子で通園し、交通マナーや危機回避を教えて体験させる機会が失われるのが残念。

通学路の安全確保がいっそう必要。要望しても改善されない箇所は多々あり、これについても道路管轄の課よりアンケートをしてほしい。

小学校の参観日などの時は、預かり保育などで親の安心を図ってほしい。そのため俵口小とも連携を。また、その場合には駐車スペースも問題もあるので、親のためのバスを出すことも考えてはどうか。

緑も多く俵口は良い。坂はきついが健康にも良い。幼稚園と小学校が隣という環境はとても良い。親も子も管理し易い。子どもも通学が楽だし、車も少ないので安全。

連絡手段をメールやラインで行えば、わざわざ登園する負担も少ない。

先生などへの相談が気軽にできにくくなりそう。

公立の幼稚園なので多少の負担はしかたない。

働いているので負担増は困る。

俵口小学校は存続するのだから、幼稚園の統合は再考の余地がある。

時代の流れでニーズは異なる。俵口地域にとって負担は増えるが、それも折り込み済みでのことだと思う。

再編するのであれば早急に。きょうだいバラバラになるのは避けたい。

きょうだいで園が分かれる形は避けて、どちらか一方に移動する方向いいと思いますが、まずは保護者の意見を聞くことが大切だと思います。

私立幼稚園に通園している園児もきょうだいで離れている。子どもの負担より親の負担を考えすぎなのではないか。親目線ではなく子どものことを考えてあげてほしい。

防災の面でも不便である。親に負担を強いることになる。小学校は俵口小になることを考えると、何のために生駒台に通うのか、子どもにとっても負担。

個々の必要な心理的支援ができるとは思えない。この統合の話すらも実際通っている保護者に話がいきわたっていない状況で、現場の声を無視して原案を一方的に作成し、それから協議会を行っていること自体、本末転倒である。

自治会の違いによる規則や、行事運営等含めた情報共有と連携は。

入園範囲が広がり、園児や保護者のコミュニティが広がることは歓迎。保護者含めた地域環境に配慮した行事と園運営の活性化を。

初めに再編ありきの市の姿勢が明確。園児、保護者の配慮が無い方針に絶対反対。

③幼稚園と地域との関係に関すること

・地域との関係について

俵口地区の方々や、ボランティアとの関係は薄くなると思う。他3

小学校との交流も人数が多くて近い生駒台が優先されるだろう。同じ公立でありながら地域交流に差が出る。

俵口小学校や、俵口のボランティアと積極的な交流をしてほしい。他1

小学校と幼稚園のつながりがなくなると不安。

今後も幼稚園と地域が関わりを持ち、お互いに良い方向に進めばよいと思う。

地域住民の考え方は異なるので、双方の考えを聞いて話しを進めてほしい。他1

地域の老人会との関わりがあり、また老人もそれが生きがいのひとつでもあったと思う。それを両校区に配慮していただいて、各老人会の活躍の場をお願いします。

何であれ地域との交流を大切に。他1

多様な世代との交流が望ましい。

交流の機会があれば関わりたい。他1

地域の方との交流は今後も残してほしい。他3

地域が広がるという意味で前向きにとらえる。

つながりが守られるならそれで良いと思う。

地域の交流は園児にとって必要。定期的な行事を考えていく方向で良いのではないか。

地域の中に育つ子どもにとって地域の人とのつながりは重要。自然豊かな環境にある俵口幼稚園は大切である。

地域交流の活性化を。地域への尊敬と園運営での良い多様性を情宣。地域内での生活圏マナーを守り迷惑行為の排除。防犯防災の周知。禁止事項の情宣。

・その他意見

俵口幼稚園→俵口小学校→生駒中学校という教育ルートが確保され子ども達もずっと一緒ということが当たり前で幼い頃の人間関係は大切。それを壊すことになりかねないか。

環境が良く、移すなら俵口のほうが良いのではないかと思う。子どもの健康にも精神的にも良い場所と思う。子どもの教育を第1に考えてほしい。人数がある程度少なくとも問題ないと思われる。

同じ市内の子どもを市民皆で見守る気持ちになるように、市教育委員会が働きかけてもらいたい。

生駒台のこども園化は賛成。

子どもの人数が減っている今、園の特長を出していくといいと思う。

山麓公園遊びなどできるだけ自然と接する機会は減らさないでほしい。交通量の多い住宅地なので温かく見守ってもらえるか心配。

子どもが笑顔で生活してくれることが最優先。場所が変わってもその気持ちがあれば大丈夫。

俵口は住宅地ではなかったので運動会等の音を気にする必要はないが、生駒台は住宅地の中なので今までなかった不理解な苦情が来そう。

園が無くなれば人も去る。サービス減の町に人は来ない。少子化に拍車がかかり、都市の破滅につながる。

④跡地の利活用に関すること

・跡地の利用案

広い園庭と綺麗な遊具があり、自然に囲まれている。長所を生かした地域住民が必要とする場所に。

小学校の学童保育。午前中などの空き時間は未就園児の集いの場として園庭や室内を開放。 他2

災害時に小さい子と保護者や、地域の人々が利用できる施設。 他2

俵口小学校の校庭が教師の車に占拠されているので、有料の駐車場にしてはどうか。

公園や地域住民が利用できる場。

子育て支援に関するもの。 他2

ボランティア活動の場。

地域交流の拠点に。 他1

習い事などに貸し出して収益を上げ、子どもに還元。

小学校関係者の駐車場に。

不審者情報があるため、警察官の立ち寄り施設に。

・跡地利用の検討について

跡地が整備されず放置されるのは近隣にも迷惑なので気をつけていただきたい。

山の上なので活用が難しい。イノシシに荒らされることも心配。

立地が良くない。民間に貸し出してはどうか。

市民のためのものを。

地域活性化につながるもの。

災害時に裏山が崩れるなどの防災対応を実施し、公共施設として活用を。

山壁が迫っており、土地の平面活用をすべき。

・その他意見

俵口は自然が魅力。施設も綺麗で冷暖房もあり、放置されるのはもったいない。駐車場を完備して、通いやすくすれば子どもも集まるのではないか。

具体例をあげてほしい。

売却してその利益を統合した園に使うべき。設備の充実や教育のために。

幼稚園の継続希望だが、無理であれば遠足や散歩の休憩所、お泊り保育などへの活用を。

俵口幼稚園存続を考えるのに、跡地利用を考える必要があるか。

幼稚園もない所に若い夫婦が住むか。行政自身問うてみよ。

⑤特別な配慮を要する園児への対応に関すること

・対応について

こども園となり、きちんと対応ができるのか。

少人数のほうが先生みんなが園児を把握できるし安心なのではないか。

より良い教育・保育が受けられることを望む。

大切なこと、大事に行う事が必要。

細やかな配慮、対応策を講じるべき。他2

人員の手配を。

環境の変化が精神的な負担にならないように対応を。

どの子も公平に幼稚園生活を過ごせることを望む。

通園バスからの配慮を。加配等の手厚い対応を。

安全に気をつけて、親も子も納得できるような配慮を。

園児や保護者と話し合い、心身への影響を最小限に。

市や園は今までも問題なく配慮してくれていた。なので問題はないと思う。

・その他意見

生活・教育環境が変わることは重要な問題。

子どもは順応性があるが、敏感でもある。各個人、居住している地域の子どもと一緒に良い。

具体例をあげてほしい。

少人数学級実現により、深く人間関係を結べる。丁寧な授業、仲間作りもできる。

園児中心の考え方を軸に、災害安全・防犯・安心な再編と地域支援を。

教育、保育面では園児。そして保護者を含めた生駒市民全員に不利益が生じないように。

園児の成長に素晴らしい園環境を念頭に日々考え実施改善に努めること。良い環境、充実した教育の構築を。

子どもに大人の(行政の効率)考えをすりこむことはできない。

その他意見

協議会開催の通知が不十分。これでは意見を聞く気があるのか疑問。自治会だよりなどで開催を周知してはどうか。また、地域活動推進課のように自治会に通知は配れないのか。

俵口をこども園化したらどうだろうか。どれくらい通う人がいるかアンケートはできないだろうか。

俵口幼稚園の廃止ありきで話がすすめられていることに、生駒市の幼児教育のあり方に疑問を抱かざるを得ない。生駒市の公立幼稚園が全部同じ保育を目指さなくてもいいと思う。集団生活を学び体験するだけが幼児期に一番大切なものではないのではないのか。山の幼稚園が注目されている昨今、自然を体験できることを中心とした公立の山の幼稚園の拠点にするにはもってこいの場所だと思っていました。そのような攻めた発想はかつての生駒市は得意としていたように思えますが、もう新しい発想は無理ですか。

こども園ありきの発想が納得いきません。教育はこれからの日本の将来、生駒の未来を担う問題。自分たちの周囲に子どもがいて、一緒に暮らしていくという普通の生活が消滅するのではないかと心配。万が一幼稚園が失われれば、次は小学校が消えるのではないかと心配。

両方の園をこども園化すると、どちらも園児が増加する。市長が子どもの為の予算が第1と公約している。

俵口幼稚園をなくすことに反対。山に近くて寂しい地域なので、そのうち俵口小学校の児童数も減っていきます。若い人達に生駒市に来てもらうためにも家のすぐ近くに学校があるのはすごくアピールできることです。幼稚園だけで経営が無理だったら、保育園も併設すれば良い。

今後、統合の計画は早めに示していただきたい。生駒台幼稚園がこども園になるのであれば、生駒市立の園となることを願う。

統合ではなく、俵口幼稚園を生駒市立のこども園として運営することを望む。

園・小・中の園区・校区を見直す時期に来ているのではないかと。歪になってきている。また地域ぐるみの児童生徒健全育成事業と民生委員との関係について、俵口幼稚園区は生駒中学校区で活動しているが、生駒台と合併したらどうなるのか。生駒中学校区と光明中学校区の両方で活動するのは難しい。光明中学はかなり遠い。生駒台幼稚園の人数が多くなり小さい子も増えると車の利用も多くなると思うが、駐車場等車利用に対する対策はあるのか。

俵口幼稚園が無くなる際には民間に委託をしないで、生駒市が避難施設などとして管理してほしい。

少子化、核家族化、女性の活躍によって保育ニーズも変わってきている。こども園になるのは時代の流れかと思います。この中で子どもを育てていくには社会・会社・事業者が変わらないといけないことです。すでにされていることもあるかと思いますが、勤務時間の柔軟さ、休みやすさ、園の時間延長の選択などできるようになれば良いと思います。

よく耳にするのは、子育てにやさしい市をスローガンに掲げているのに、保育園になかなか入れず困っているということです。俵口幼稚園もこども園化できれば、入園希望も増えて、待機児童も少なくなるのではないのでしょうか。

2021年3月、28名の園児が俵口幼稚園を卒業されました。俵口幼稚園は40年ほど前に生駒台幼稚園から分離して生まれました。私の子どもの母校も俵口幼稚園、俵口小学校です。創立時に比べると現在は随分と少人数になりましたが、幼稚園や小学校ではむしろ少人数のほうが教育上優れているのではないかと思います。園児や児童は先生の顔や名前を簡単に覚えられます。先生方も1人1人を良く把握できるのではと思います。家庭的な温かい雰囲気の中で少人数で過ごせることができれば、幼少期の心身の発達にとって良い結果が得られるものと信じています。少人数の方が良いということの他、もう一つの良い点は、俵口幼稚園は環境の良い立地をしているということです。園の後ろには山が控えており、申し分のない環境だと考えます。俵口幼稚園のスクールボランティアをしています。年に数回園から山麓公園の遠足に参加してきました。車の心配なくのびのびと山歩きが楽しめます。壱分幼稚園からバスで山登りをされたこともありました。(コロナ前)裏山があるなんてすぐ恵まれた環境の幼稚園だと思いませんか。このすばらしい環境を生かすためにも少人数になった俵口幼稚園に保育園の機能をプラスしてこども園に生まれ変わらすことは可能でしょうか。仕事を持つママが増えて保育園の需要が高まっている今、俵口幼稚園ならばマンモス園にはならず、働くママの要望にも応えられるのではないのでしょうか。40年の歴史を持つ俵口幼稚園の有効利用できる方法を探っていただくことを祈っています。

移行期間はどれくらいで考えているのか。1年か、2、3年?統合したら逆に管理が行き届かなくなるのでは。少人数のほうが人間関係、教育にもいいのではないか。児童が減少していることを主として対策されているが、逆に増加させる対策はないのか。全国では待機児童が多いのが現実である。前向きな考えが表明されていないのはおかしい。交通の便も良い生駒なら、もっと積極的な人口増加に向けた対策をしてほしい。すでに統合ありきで決定しているのではないか。

現状の幼稚園・保育園の大変さは現場の人にしか理解されない。今後負担が増えるのであれば尚更の事。今の低い待遇を見直してあげないと可哀想。そうでないと保育士は増えない。

地図に生駒台幼稚園の場所が示してありますが、俵口幼稚園の場所が示されていないので、位置的な関係がわかりません。両園の幼稚園の関係がわかるようにしたほうが、わかりやすいのでは。

0歳の2人目の孫が4月からこども園への入園が決定し、安心してるところです。働くことが当たり前になっている現代、働きたいときに働けるように子どもが預けられる体制が整うよう、こども園化されることを願っています。

アンケートが書き込み方式でやりにくい。○×のほうがやりやすい。

統合しようとしている各幼稚園をこども園化し、0～5歳が利用できる園にすれば待機児童の問題は少しは解決するのではないか。どのような園にしても、子ども達が良き大人の代表である先生方に恵まれ、十分な愛情を受けて保育されることが大切である。そのためにも子どもの人数に対する先生の増員を希望します。

昨年度、保育園の待機児童70人とでていたが、公立幼稚園のこども園化を進めないと解消しないのではないか。

色々なメリットデメリットがあるかもしれないが、児童の減少により幼稚園が継続困難や閉園ということであればこども園化すべきだと思う。このご時世、保育園に通わせていても仕事の保障は無く、解雇になっても子ども課からは「コロナで解雇になったとしても平常通り3ヶ月以内に仕事を探さないと保育園を辞めないといけない」と言われるので、様々な動きに対応できるこども園は良いと思います。

公立のこども園にして欲しいと願っている。

再編し、こども園化に賛成。園児が少ないところに預けるのは不安。少子化で子どもの数は減るばかり、ぜひ2つの幼稚園を1つにして、安心して子どもを預けられるような園を造って頂けたらと切に思います。こども園になると保育園を検討していた人達が入ってくれるのでは。

役員をすることになる親の負担についてはどう考えているか。時期によっては何度も園に通わなくてはいけなくなる。全ての親が車を運転できたり所持しているわけではありません。こども園の考え方は賛成だが、役員数や仕事量をかなり減らすことを前提に進めて欲しい。

子ども達が心身共に健康に育つことが生駒市にとってもプラスになるのではないかと思います。□コミで生駒で子育てがしたいと思われるような地域になってほしいと思っています。高齢者より若者がこれからの税収の担い手になるのでそこをしっかりと考えて欲しいです。ただしスピーディーに進めていただかないと子育て世代の私たちは先のことが考えられません。

各方面の意見を聞いたら、再編するメリットを活かして早く前へ進めることが重要だと思います。各論はあると思うが、全部満たすことはできません。人が集まることで多くの知恵が生まれると思います。

俵口幼稚園がなくなると、その周辺地域へ移住する若い世代が減少する。そして高齢化過疎化が進む。俵口小学校への通学を希望する生徒も減り、将来的に廃校ということになりかねない。生駒台小、桜ヶ丘小への通学は両学校の規模的に可能なのか、よく考えて欲しい。

再編するのであれば通園バスを増やし園児の負担を作らない。バスが増えると道路が渋滞するので事故が起こらないように警備を拡大。行事ごとに車で来る親がいるので、違法駐車がないように駐車場の絶対確保。市民が巻き込まれることなので徹底してください。

子どもの数が経減り、統合も時代の流れで仕方ないことだとは思いますが非常に寂しい。俵口の自然豊かな立地が好きでした。親の希望は色々あると思うが、せっかくの立地を有効に利用していただきたいです。

地域の中で今努力されている子どもに寄り添い、地域の人に守られている俵口幼稚園をより充実することで地域で育てられていく生駒の人づくり、街づくりを考えてこそ、子育て世代が流入し、人口も増える。豊かな未来を見据えたプランニングをしてほしい。こども園化し充実に向かって欲しい。

幼稚園は子ども達が始めて自分の足で通う施設。地域に根ざしているからこそ、幼い頃からの繋がりが一番大切にしている場所なのです。待機児童問題があるのに受け入れ先を減らすなど以外の外。こども達には学びの選択肢を持たせるべきである。少人数制をとる。(コロナの影響しかり。)それでもダメならこども園にする。こども達を増やす努力をしないと地域活性・福祉行政だと言えない。幼稚園と小学校の関係も重要。緑が多く空気の綺麗な環境、坂道が多く自然と心肺機能も向上し、体力測定の結果も他の園とは違う。教室稼働率も地域から絵本を集めたり、作品展部屋として活用したり高齢者との触れ合いの場所としたり工夫できるはず。

少子化対策に逆行する様な愚策を撤回せよ。よそ者の市長に我らの豊かな町作りを潰させてはならない。市長、教育長は辞職せよ。

今は幼稚園より保育園ニーズが増えており、待機児童解消のため、こども園が増えることはありがたい。両幼稚園をこども園に。

通園バスは時間的制約が多い。朝早くから夜遅くまで運行できるのか。中保育園が市役所駐車場を利用可能のように、近隣の駐車場と提携し、送迎時のみ利用することを考慮して欲しい。

俵口幼稚園の余った部屋は老人施設と共用してはどうか。園児がお年寄りから学べることは多い。

バスよりも両親に連れられて歩く道中の発見は大きい。

俵口幼稚園は自然が豊かで、「不便」という一言では解消できない自然との触れ合いがある。

結果的に近くの保育園がないとのことで、転入を諦める若い世代が増えて、地域がますます廃れていくような気がする。教育の場が近くにあるとないとでは差が大きい。

保育園利用で雨降りなどの時に布団の持ち運びは大変なのでリース等の対応を願う。

統合を前提とした議論のみなされていますが、東大阪市では魅力ある市立幼稚園作り活動で若い人口の取り込みを目標に注力しています。生駒市として、少子化・人口減少・待機児童等に対する方針を明確に示し、その上で市立幼稚園をどうすべきか、議論すべきだと思います。

将来的には親の就労に関わらず、子ども達が皆平等に教育を受けられるよう、受け入れ体制を整えてほしいと思います。生駒市は週3日以上、月64時間以上の就労が保育園・こども園申し込みの条件となっていますが、申し込みできないからやむなく幼稚園に入れるという現状もあると思います。全ての幼稚園をこども園にして、0～5歳児を預かれるようにして、お迎えの時間は各自で自由に決められる等、柔軟に対応できるようになるのが理想です。

自分の子ども達もお世話になった幼稚園がなくなるのはとても悲しいことです。出来れば地域活性化をしていく方向ならばもっと行政の方で若い方や子育て世代を援助して地域に入ってもらおう努力が必要なのは。何もしなくて、人数が減ったから潰すという考えはおかしいと思う。目先よりも将来を見て欲しいかと思っています。主役は子どもです。

「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案に対する意見を踏まえた課題と考えられる対応

①園児の通園の負担及び通園時の安全に関すること		
具体的な課題		考えられる対応
(1)通園バスの利用料について	バスに乗る必要が生じる場合の負担について、対応が必要である。減額や無償化を検討してほしい。	
(2)通園バスのルートについて	延伸してほしい。住宅内にも入ってきてほしい。	運行ルートの拡大や複数台での運行を検討
	通学路など地域住民の安全確保が必要である。	必要に応じて柔軟に運行ルートを変更する。 自治会、警察及び運行委託会社との協議を行う。
(3)駐車・駐輪スペースの確保について	民有地を借りて確保できないか。	
	地域の生活道路の安全確保が必要である。	保護者への注意喚起を行う。
(4)生駒台幼稚園周辺道路の通行規制などの安全確保について	通行規制の緩和ができるのか。	自治会、小学校、警察との調整 通行規制外での駐車場確保
	「ゾーン30」を設ける必要があるのではないか。	自治会、警察、奈良交通との調整
(5)登園時間の配慮（交通混雑面や遠方保護者）について	混雑回避のために登園時間にゆとりをもたせてはどうか。	
(6)徒歩通園について	通学の練習になる。	園外学習での対応
	体力がつく。	

1. 小学校区に幼稚園がなくなることについて

教育委員会の案では俵口小学校区にある公立俵口幼稚園がなくなり、俵口小学校区の児童は隣の小学校区にある幼稚園に通わなければならないようになります。これは「園が地域とともに子育てをすることに配慮」したのではなく、不合理です。このようなことにならないようにするにはどうすればよいかを先ず考えなければなりません。

2. 教育委員会の言う「望ましい規模」について

「基本的考え方」では幼稚園の望ましい運営体制について1学級あたりの園児数（令和6年度推計）では「特に望ましい状態」を20～30人としています。これに対して例えば20人以下学級にすれば俵口幼稚園は今後も各々2クラスになります。そうなれば俵口幼稚園は6クラスとなり「望ましい状態」になり、統廃合の必要はなくなります。20人以下のクラス編成は望ましくないとの評価があればそれを示して下さい。そのような評価がなければ20人以下のクラスで「望ましい状態」を続けることができるので、敢えて俵口幼稚園を廃園にする理由はなくなります。

3. 幼稚園の統廃合問題への解答=生駒モデルの提案

少子化による園児の減少から今後は切り拓く根本的な解決策を提示したいと思います。

A.教育委員会の見解(主な点)は次の通りです。

(1)望ましい規模・・・①1学級当り20～30人 ②1学年2クラス以上、1園6クラス以上

(2)望ましい規模ではない幼稚園の対策・・・①統廃合 ②こども園化

(3)対策を講じる幼稚園・・・俵口幼稚園の廃園と生駒台幼稚園への統合及びこども園化、なばた幼稚園の廃園と壱分幼稚園への統合及びこども園化

B.これに対して私達は次の様に考えます。

(1)教育委員会の考えの問題は次の点です。

①廃園の問題点・・・同じ小学校区内に通えず、他の小学校区へ通うことの不具合。

②統合の問題点・・・1園の人数が多くなりすぎる。(令和6年度予測 俵口幼66+生駒台幼102=168。こども園にすると保育園児が加わり大幅に人数が増える。)

③こども園化の問題点・・・幼保による在園時間の違いから起こる不具合。

(2)「望ましい形」について私達はこう考えます。

①望ましい規模・・・幼稚園での①少人数学級の実現 ②1園理想100人以下、適正規模150人以下。

②望ましい立地・・・小学校区の中に就学前教育保育施設があること。

③待機児童の解消・・・この地域での保育所待機児童を解消できること。

(3)そこで「望ましい形」にするための方策を提案します。

①俵口幼稚園を現在の場所で認定こども園にする。

②こども園は幼保連携型とし、幼保ともに午後4時まで就園時間とする。保育児についてはそれ以上の時間帯の保育も可能とする。

(4)「生駒モデル」の採用

これまでの枠にとらわれず、統廃合やこども園の問題点を解決し、新しい方式を取り入れる。

C.検討課題

教育委員会では幼稚園の統廃合によって市の財政削減を予定していることに鑑み、今回の「生駒モデル」を採用することによる財政支出への検討が必要になります。

①教育委員会案(廃園と統合)による財政負担額と当会案(認定こども園化)による財政負担額の検討。

②認定こども園を午後4時まで就園時間とすることによる利用者負担の増加の検討と市からの補助の検討。